



場所を選ばない 安全なPC利用環境の実現へ

AppGuardが強固なエンドポイントセキュリティを実現

“働き方改革を背景に、場所を選ばず安全にPCを利用できる環境が求められています。AppGuardなら、外出先や自宅でも強固なエンドポイントセキュリティを確保することができます”
 ——松方岩雄氏



日本ビジネスシステムズ株式会社様
www.jbs.co.jp

チャレンジ

- ・「働き方改革」を背景にした自社内のエンドポイントセキュリティの強化
- ・外出先や在宅など場所を選ばず安全にPCを利用できる環境の確立
- ・ビジネスとしてのエンドポイントセキュリティポートフォリオの強化

ソリューション

- ・Isolation Technologyに基づくエンドポイントセキュリティ製品AppGuardを導入
- ・未知のマルウェア、ゼロデイ攻撃などあらゆる不正なプロセスを隔離・遮断
- ・パイロットユーザー100人が実際の業務の中でAppGuardの有効性を検証

ベネフィット

- ・検知型セキュリティソフトと補完して様々なリスクを防御可能に
- ・フリーソフトやスクリプトなど危険性のあるソフトウェアの洗い出しが可能に
- ・自社導入の経験を活かしAppGuardをマネージドサービスモデルで顧客へ提供



日本ビジネスシステムズ株式会社
 ITソリューション統括本部
 テクノロジーソリューション本部
 セキュアデザインセンター
 主席コンサルタント
 松方 岩雄 氏



日本ビジネスシステムズ株式会社
 ITソリューション統括本部
 テクノロジーソリューション本部
 セキュアデザインセンター
 担当マネージャー
 牧園 雅左男 氏



日本ビジネスシステムズ株式会社
 ITソリューション統括本部
 テクノロジーソリューション本部
 プラットフォームソリューション部
 小川 智之 氏

増大するエンドポイントのリスク

日本ビジネスシステムズ(JBS)は、ITコンサルティング、システムインテグレーション、ITサービス、アプリケーション開発、サポートまでをトータルに提供する独立系SI企業だ。6年連続で「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」を受賞するなど、その技術力・ソリューション提供力への評価は高い。

「テクノロジーソリューション本部はITインフラ領域に特化した技術チームです。その中でセキュアデザインセンターは、セキュリティ対策のグランドデザインを起点に、お客様へのトータルなセキュリティ

ソリューションの提供を担っています」と主席コンサルタントの松方岩雄氏は紹介する。

JBSでは、2018年6月にエンドポイントプロテクション製品「AppGuard」の検証を開始した。その経緯を、同センター 担当マネージャーの牧園雅左男氏は次のように話す。

「パターンマッチングにより脅威を検知・防御する従来型の対策だけでは、十分なセキュリティを確保できない時代になりました。お客様へセキュリティソリューションを提供する立場として、未知のマルウェアやゼロデイ攻撃にも対抗できる仕組みが必要と考えていたのです」

JBSグループの社員数は2,000名を超え、クライアントデバイスは4,000に達する。社内は、強固なネットワーク境界防御や不審な挙動を検知するシステムによって多層的に守られている。しかし、一歩外に出たときにデバイスを守るのは「Windows Defender」だけだった。「AppGuard」を追加導入することで、さらなる強化につながると考えたのである。松方氏は次のように続ける。

「もうひとつの視点は、自社のエンドポイントセキュリティの課題です。JBSでは、『働き方改革』の一環として在宅勤務を支援するための人事制度を整えてきました。これと両輪をなす『場所を選ばずより安全にPCを利用できる環境』の整備が急がれていたのです」

従来型のアンチウイルス対策の限界を超え、社外でもエンドポイントセキュリティをさらに強化できるソリューション——それが、AppGuardだった。

「攻撃を隔離」する新しいコンセプト

AppGuardは、「Isolation Technology (隔離技術)」という新しいコンセプトに基づくエンドポイントセキュリティ製品である。従来型のウイルス対策ソフトが定義ファイルやリストに基づいて脅威を検知・防御するのに対し、AppGuardは不正な行為そのものをプロセスレベルで未然に阻止する。その実力は、米国陸軍並びにアメリカ国防省のセキュリティ・スタンダードを満たしたことを示す「CoN認証」の取得により実証済みだ。

「AppGuardは、悪意あるプログラムに入られても『不正な行為を実行させない技術』が非常にユニークだと思いました。未知のマルウェアやゼロデイ攻撃に対抗できる、数少ないエンドポイントセキュリティソリューションと言えるでしょう」と松方氏は評価する。

「AppGuardはプロテクションエンジンが1MB以下と軽量で、シグネチャコードに依存しないためアップデートも不要です。誰にとっても扱いやすいというメリットがあると直感しました」と牧園氏も言う。

AppGuardでは、HDDのフルスキャンなどでユーザーの使用感に悪影響を及ぼすようなことはない。PCがネットワークに接続されていない状態でも動作し、外出先や自宅など場所を選ばずセキュリティを確保できるメリットも大きい。

社内検証で運用ノウハウを蓄積

2018年6月、JBSは「顧客企業へのソリューション提供」を視野に、パイロットユーザー100名を対象としたAppGuardの検証に着手した。プラットフォームソリューション部の小川智之氏は次のように振り返る。「検証では、さまざまな部門のユーザーに実際の業務の中でAppGuardを利用してもらいました。実運用を通じて幅広く意見を吸い上げながら、導入効果を評価し、何らかの事象が発生した場合の解決手順を確立することを狙ったのです」

AppGuardは、ポリシー違反と判断されたプロセスを強制的に遮断するため、デフォルト設定のままでも強固なエンドポイントセキュリティを確保できる。だが運用には注意が必要な点もある。

「開発部門で使用していたフリーウェアや独自開発のスクリプトが、不正なプロセスと判断される事象が発生しました。また、不用意なソフトウェアのインストールが阻止されるケースもありました。結果として、この経験が自社のアプリケーション使用基準を見直すきっかけとなり、ユーザーにも不用意なソフトウェア導入のリスクを喚起することにつながりました」と小川氏は振り返る。

牧園氏らは、業務上の妥当性を確認しながら一つひとつ解決していったという。それが、顧客価値の高いAppGuardソリューションの実現にもつながった。JBS独自の「AppGuardマネージドサービス」である。

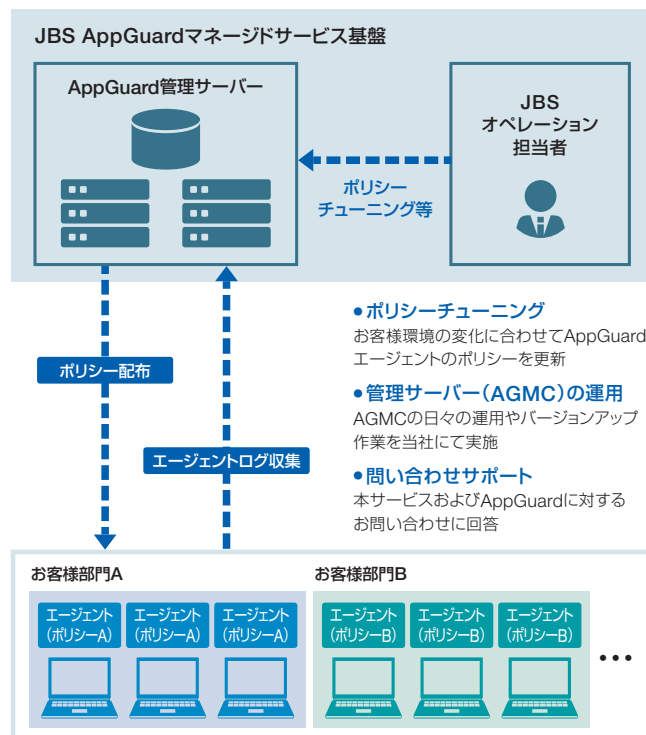
AppGuardマネージドサービスの提供

2018年10月、JBSは「AppGuardマネージドサービス」の提供を開始した。サービス設計には、実際にユーザーとしての体験で得られたノウハウが活かされている。

「AppGuardマネージドサービスでは、お客様のAppGuard環境の構築と運用をJBSが全面的にご支援します。アプリケーション調査に基づく適切な事前準備、ポリシーの策定とユーザー環境への適用、運用段階ではサポートデスクも提供します。数100ユーザー規模以上の環境であればコスト削減効果も期待できます」(牧園氏)

将来的には、ログ管理ツールと連携したイベント分析を行うことで、問題点の特定と早期解決につなげていく計画だという。最後に松方氏が次のように話して締めくくった。

「働き方改革を背景に、場所を選ばず安全にPCを利用できる環境が求められています。AppGuardなら、外出先や自宅でも強固なエンドポイントセキュリティを確保することができます」



● AppGuardについてのお問合せは

日本ビジネスシステムズ株式会社

〒105-6316 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー16F
Tel: 03-6772-4000 Email: sales.jp@jbs.com
https://www.jbs.co.jp



Blue Planet-works
Safety for the Connected World